

	リーダー	アドバイザー	コーディネーター
目標設定 (Where)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダー、アドバイザー、コーディネーターに期待される役割、目指すべき人材像</li> <li>行政や自主防災組織等との役割分担</li> <li>リーダー、アドバイザー、コーディネーターの活動範囲</li> </ul>		
募集 (Who)	<b>第1-2回</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーに求められる知識、スキル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーに求められる知識、スキル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーターに求められる知識、スキル</li> </ul>
	<b>第2回</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修対象</li> <li>研修の規模</li> <li>団体の巻き込み、連携方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修対象</li> <li>研修の規模</li> <li>団体の巻き込み、連携方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修対象</li> <li>研修の規模</li> <li>団体の巻き込み、連携方法</li> </ul>
研修の実施 (What) (How) (When)	<b>第3-5回</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識・スキル習得のための具体的なカリキュラム (既存の研修との整理、オンライン、実地演習等の実施方法等を含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・スキル習得のための具体的なカリキュラム (既存の研修との整理、オンライン、実地演習等の実施方法等を含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・スキル習得のための具体的なカリキュラム (既存の研修との整理、オンライン、実地演習等の実施方法等を含む)</li> </ul>
	<b>第4-5回</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修の実施主体と役割分担 (内閣府、都道府県、市町村)</li> <li>講師の確保</li> <li>研修の実施時期、期間</li> <li>サポート体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の実施主体と役割分担 (内閣府、都道府県、市町村)</li> <li>講師の確保</li> <li>研修の実施時期、期間</li> <li>サポート体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の実施主体と役割分担 (内閣府、都道府県、市町村)</li> <li>講師の確保</li> <li>研修の実施時期、期間</li> <li>サポート体制</li> </ul>
フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定方法、認定主体</li> <li>ネットワーク化</li> <li>研修後の能力維持方法</li> <li>アドバイザーへの展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定方法、認定主体</li> <li>ネットワーク化</li> <li>データベースの登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定方法、認定主体</li> <li>ネットワーク化</li> <li>データベースの登録</li> </ul>

R4以降

## カリキュラム検討チーム第1回の論点

### 1. リーダー、アドバイザー、コーディネーターについて、期待される役割・目指すべき人材像はどのようなものか。（ゴールの確認）

- 過去の経験を踏まえて、外部から支援に入る際に気をつけるべき点は何か
- 避難生活支援において、避難者・地域住民や行政の活動をサポートするボランティアに期待される役割はどのようなものか

### 2. 行政や自主防災組織等との役割分担

- 行政や自主防災組織等の既存の避難所運営の主な関係者との役割分担はどのように整理されるか

### 3. リーダー、アドバイザー、コーディネーターの活動範囲

- それぞれの活動範囲はどのようなものか（避難所、車中泊、ホテル避難、在宅避難への対応）

### 4. リーダーに求められる知識、スキル

- 上記1～3を踏まえると、リーダーは具体的にどのようなスキルを培うべきか

# カリキュラム検討チーム第1回の論点

## 1. リーダー、アドバイザー、コーディネーターについて、期待される役割・目指すべき人材像はどのようなものか。（ゴールの確認）

	リーダー	アドバイザー	コーディネーター
提言の記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難生活支援の全体を理解し、一つの避難所に常駐して運営や支援を円滑にすることができる人材</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の避難所を巡回するなどにより、運営指導、避難生活支援リーダー等への助言を行うことができる人材</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難生活上の課題を外部の専門家や支援者、行政等に適切に繋ぎ、巻き込んで問題解決を図れる人材</li> </ul>
期待される役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当する避難所において、避難者、避難所担当職員などとともに、環境改善に取り組む役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーを支援しながら、避難者、避難所担当職員やボランティア団体と問題解決を図るための体制づくりを進める役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災市区町村の避難所全体の問題解決を図るため、関係機関との体制づくりを進める役割</li> </ul>

	(全体像の理解)		
目指すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所運営をはじめとした避難生活支援に関わる各関係者の役割、制度等を理解している</li> <li>避難所の開設、統合、閉所、避難者の移動までの各フェーズにおいて必要な作業を理解し、実践できる</li> <li>物資、食事、健康管理・衛生、要配慮者支援等の避難生活支援の全体像を理解し、環境改善策を実践できる</li> </ul>		

	(課題発見能力)	(課題把握能力)	(課題解決能力)	
目指すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難生活における衛生・食事・健康・要配慮者など様々な視点から、自ら率先して課題を発見し、改善すべき点を理解することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所等のアセスメント調査を行い、課題及び改善すべき点を把握することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市区町村内の避難生活全般の課題を理解し、過去の事例や制度運用をもとに解決の方向性を見出すことができる</li> </ul>	
	(コミュニケーション力)	(課題解決のための調整力)	(避難生活の環境改善のための調整力)	
目指すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者の立場に寄り添いながら、避難所運営に、避難者の自主的・主体的な参加・協力を促すことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難者、行政職員、支援団体等と協働し、問題解決を共有し、解決するための体制づくりを進めることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難生活に関連する行政の各部局とコミュニケーションをとり、具体的な環境改善を話し合う場をつくることのできる</li> <li>環境改善のために必要な社会資源が活かされるように働きかけができる</li> </ul>	
	(リーダーのサポート)	(アドバイザーのサポート)		
目指すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所運営の支援に関わりながら、避難者、避難所運営に関わる担い手との信頼関係を構築することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各避難所の状況を理解し、活動するリーダーへの助言、よりよく活動するためのサポートができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回するアドバイザーへの助言、よりよく活動するためのサポートができる</li> </ul>	

# カリキュラム検討チーム第1回の論点

## 2. 行政や自主防災組織等との役割分担（既存の避難所運営の主な関係者との役割分担はどのように整理されるか）

**避難者・地域住民**  
（自主防災組織等）

避難所では、支援を受けながらも、主体的な運営に関わる。また、避難生活においても同様に被災者同士で支え合う

**行政職員**  
（施設管理者含む）

避難所の開設から運営、閉鎖まで、被災者の支援に従事する運営ルールを示し、制度を活用し、物資をはじめとした避難生活の支援を担う

避難者・地域住民、行政職員と課題を共有し、解決の具体的な方策を考え、彼らと協働しながら課題を解決し、避難生活環境の改善を図る

リーダー等の  
外部支援者

リーダー  
アドバイザー  
コーディネーター

- 避難所をはじめとした避難生活の現場において、様々な課題を把握する
- 避難者や関係する行政職員、被災者支援団体等とともに、課題を把握し、具体的な解決の方向性を考える機会をつくり、具体的な解決策をサポートする

被災者支援団体

- 被災者の生活再建のために、被災者のニーズを把握し、具体的な支援を行う。
- 必要に応じて、リーダー等、被災者、行政と連携して、課題解決に関わる

# カリキュラム検討チーム第1回の論点

## 3. リーダー、アドバイザー、コーディネーターの活動範囲はどのようなものか

(避難所(ホテル避難や自主避難所を含む)、車中泊、在宅避難への対応をどのように考えるか)

	リーダー	アドバイザー	コーディネーター
活動拠点	<ul style="list-style-type: none"><li>居住している市区町村もしくは近隣市区町村に設置された避難所</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>居住している都道府県内の市区町村に設置された避難所</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>居住している都道府県内もしくは近隣都道府県(ブロック内)</li></ul>
カバーする範囲 (避難所数、避難者数)	<ul style="list-style-type: none"><li>基本的に1避難所あたり1名以上で対応(1避難所100名を超える場合は複数名が望ましい)</li><li>対象となる避難所を利用する車中泊、周辺の在宅避難者も視野に入れる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>市区町村に設置された避難所を対象</li><li>複数の避難所を対象に3~5名程度のチームを組んで対応</li><li>対象となる避難所を利用する車中泊、周辺の在宅避難者も視野に入れる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>市区町村ごとに1名以上で対応</li><li>市区町村内の車中泊、在宅避難者も視野に入れる</li></ul>
主な関係者	<ul style="list-style-type: none"><li>避難生活に関わる行政職員、避難生活をサポートする地域住民、被災者支援団体等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>市区町村災害対策本部・避難生活に関わる行政職員、被災者支援団体、都道府県域のネットワーク組織、各種専門組織等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>市区町村災害対策本部、都道府県災害対策本部、保健医療調整本部(保健所・保健センター等を含む)</li><li>都道府県域のネットワーク組織、各種専門組織等</li></ul>

# カリキュラム検討チーム第1回の論点

## 4. リーダーに求められる知識、スキル

### 期待される役割、人材像

#### (全体像の理解)

- 避難所運営をはじめとした避難生活支援に関わる各関係者の役割、制度等を理解している
- 避難所の開設、統合、閉所、避難者の移動までの各フェーズにおいて必要な作業を理解し、実践できる
- 物資、食事、健康管理・衛生、要配慮者支援等の避難生活支援の全体像を理解し、環境改善策を実践できる

#### (課題発見能力)

- 避難生活における衛生・食事・健康・要配慮者など様々な視点から、自ら率先して課題を発見し、改善すべき点を理解することができる

#### (コミュニケーション力)

- 避難所運営の支援に関わりながら、避難者、避難所運営に関わる担い手との信頼関係を構築することができる
- 被災者の立場に寄り添いながら、避難所運営に、避難者の自主的・主体的な参加・協力を促すことができる

### 求められる知識、スキル

- 避難所の設置から閉所までの状況の理解
  - 一般的なルールや環境整備の内容
- 避難生活を支援するための法制度
  - 災害救助法の運用、罹災証明など被害認定の手続き（被災者の生活再建）等の理解
- 避難生活の環境改善の必要性
  - 過去の災害において明らかになった課題とその背景、災害関連死を回避するための方策の必要性の理解
- 避難所の運営主体
  - 行政、避難者・地域住民、被災者支援団体、専門職などの役割の理解
- 避難所運営におけるリーダーの役割の理解

- 避難所の望ましい環境の理解
  - 物資、環境、食事、健康、衛生、情報、コミュニティ支援などの視点、感染症対策の具体例などの理解
- 要配慮者をはじめとした多様な被災者への配慮
  - 高齢者、女性、子ども、LGBT、外国人、障害者などの理解と対応事例

- 避難生活の環境改善に向けた体制づくり
  - 行政、避難者、被災者支援団体等の連携の必要性の理解
- 被災者の心情、置かれる立場の理解
  - 被災者の心情や立場、避難所に避難しない・できない被災者の理解
  - 避難所の自主的・主体的な運営の必要性とそのための促し

# ヒアリング候補者

## 避難生活支援に関わる専門職の取組からみた避難生活支援リーダー等の役割検討

- 鈴木伸明（群馬県社会福祉協議会・群馬県災害派遣福祉チーム 事務局）
  - DWATの果たす役割、避難生活支援リーダー等との役割分担や連携方策
- 菊池遼（日本福祉大学助教授）
  - ソーシャルワーカーの果たす役割、避難生活支援リーダー等との役割分担や連携方策
- 尾島俊之（浜松医科大学健康社会医学講座教授）
  - 各種専門職と、避難生活支援リーダーとの連携方策
- 保健師（他団体と連携の経験がある方）
  - 災害時における保健師と避難生活支援リーダー等の連携方策

## 過去の避難所支援等の実績を踏まえた避難生活の環境改善に対する助言

- 佐々木裕子（愛知医科大学看護学部在宅看護学准教授）
  - 避難所アセスメント調査におけるチェックポイント、災害看護の視点からみた避難生活改善に関する助言
- 丸目陽子（熊本YMCA）／山本恵子（キャンパス熊本）／山中弓子（NPO法人みそらけあ）
  - 過去の避難所運営における課題、避難生活支援リーダー等に期待される役割
- 笠岡（坪山）宜代（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 国際栄養情報センター 国際災害栄養研究室長）
  - 避難生活における食事支援、避難生活支援リーダー等に期待される役割



# カリキュラム検討チームの成果物のイメージ

## 成果物 1 : 研修カリキュラム

### 概要

- 研修参加者に対して共有される、リーダー養成向け研修のカリキュラム。

### 含まれる内容

- リーダー、アドバイザー、コーディネーターに期待される役割、目指すべき人材像
- 行政や自主防災組織等との役割分担
- リーダー、アドバイザー、コーディネーターの活動範囲
- リーダーに求められる知識、スキル
- 知識・スキル習得のための具体的なカリキュラム

## 成果物 2 : 都道府県向け研修実施マニュアル

### 概要

- 研修を実施する都道府県に対して共有される、実施マニュアル。

### 含まれる内容

- 研修対象
- 研修の規模
- 団体の巻き込み、連携方法
- 研修の実施主体と役割分担（内閣府、都道府県、市町村）
- 講師の確保
- 研修の実施時期、期間
- サポート体制